

Café

カフェの話 8
レッド・シューズ

1970年代には、様々な形のカフェが登場し、そして消えていきました。70年代までは、カフェは文化の中心に位置していたのです。今思い返すと、本当に楽しく面白い時代だったと思います。老いも若きも、カフェに集いおしゃべりをし、情報交換をしました。学生達が政治活動に熱心だった時代は、世界各国でカフェは熱っぽい論争の場となっていました。80年代に入ると、世相は変わり、そういった光景が過去のものとなったのです。その頃に、私はいつの間にかカフェを造る仕事に就いていました。子供のころから、喫茶店という不思議な世界に惹かれてあちこちを覗き見するのが好きだった私ですが、カフェを造るという仕事があることも知りませんでしたから、特に希望して就いた仕事でもありませんでした。

小さなデザイン事務所に籍をおいていた私達には、大した仕事もなく、大きな会社から請けた仕事などで追われていました。社長は野心家で、様々な仕事を探してきては、私にプランを考えさせてくれました。その度出来上りを空想しながら、紙の上での店作りで没頭しましたが、まず、現実化されることはなかったのです。そんな日々が一年くらい続き、私は紙の上での店作りが楽しくなり、空想が妄想になり、突飛でもないプランを思い描いては、書き、書き直しては、また組み立てるといった作業を繰り返していました。少しずつ、現実のものが出来上がるようになった頃、私の目を覚まさせるような注文が入りました。それは、こういうものです。

全く新しいスタイルのカフェを造りたい。名前は「レッド・シューズ」。イメージは、横須賀のどぶ板通りにある場末のBARで、そこには13センチの赤いハイヒールを履き、豹柄のドレスを着た女がいる……

不思議な注文でしたが、それまで育ててきた、

私の空想と妄想は、途方もなく広がったのです。

次号に続く



Illustration by Masahiro Arai

COLUMN

鎌倉の猫事情 第八十六話
亡きシュガーの独白

先日来、まだこの世をうろろと散歩して廻っております、シュガーでございます。懐かしいご近所を訪ねようにも、この辺りのお家の様子が十年前とは随分変わってしまっていて、不覚にも道に迷ったりして。それでふと昔可愛がってくれた、縁側と小さなお庭のあるお宅を訪ねてみましたところ、最近ご不幸があった様子で、優しいご主人や息子さんたちまで沈み込んでみえました。お気の毒なことです。沢山の若い人が出入りしていたお店も覗いてみましたが、年老いた主人が一人店に座っているばかり、なんだか寂しくなってこのひと月昔なじみの家々を覗いて廻っておりました。まあ、世の中色々あるんでございますね。とぼとぼ夜の夜中に歩いていますと、小さな狸に出会いましたので、なんだか嬉しくなって話しかけてみますと、可愛い顔して振り向きましたが、どうやら私のことが見えならしくて、またどこかへ走っていきました。八幡様の裏手や、雪ノ下のお山では、相変わらずウグイスやフクロウがせせせと子育てをして、ヒナ達が皆可愛い顔して鳴いていました。そろそろ巣立ちでしょうかねえ。私もこの世にいた頃は、小鳥なんか追いかけて廻っておりました。今では悪いことしたな、とは思いますが、それもこれも、この世の慣わしというもので、天上に来てみますと、敵も味方もなく皆仲良く暮らせるのですから、不思議なものでございます。天国とはこういうものだと思つづく思ふんでございます。それでも、時折この世が懐かしくてしょうがなくなって、こうして降りて来ておりますのですよ。

色々あって、泣いたり笑ったり、小さな事でよくよしてたかと思うと、急に勇気が湧いたりする、こんな俗世が、なんとも懐かしく愛おしく思われるんです。自分でも、こんなに悟りに至った猫が他にいないとは思われません。聖人……いえ聖猫とでも申しませうか。まあ、そんなことで、天上から俗世のこのお家の様子を見に来てみますと、まあ、グーニーやら、スビー達、最近の猫の餌の贅沢なことといったら、数年前にグーニーが、生死をさまよった時には、気の毒に思いましたけれどねえ。まあ、よござんす。聖猫となって悟りを拓いた私が、

ひがむものでもございませぬもの。

to be continued



LIVE

ミルクホール 特別ライブ

6/7 Sun.

満月の夜 7時半より
ミルクホールにて

19:30~

琵琶と尺八の夕べ

満月の夜

満月の夜です。
世界中の人々が、空を見上げれば真ん丸いお月様を見られる晩です。
満月の夜には、不思議な魔力があるのです。魔法にかけられた夜に奏でられる音色は、美しく、侘びしく、そして、いつかしら、心浮き立つ調べとなって、聞きいるものの心のうちに、優しく語りかけてきます。
演奏は、琵琶の、音にならない静かな響きから始まり、尺八の低く重い音に引き継がれ、歌い、奏で、響き、鳴る……
ミルクホールの魔法の夕べを、どうぞ、一緒に。

琵琶・馬場鶴生
語り・パーカッション他

尺八・榎本秀水
フルート・テナーサクソ・唄

ミルクホール 定期ライブ

by HALF MOON

6/20 Sat.

ハーフムーンは、
愛と平和を歌います。

19:30~

琢磨 仁
琢磨 啓子

Information

ミルクホールタイムス 総集編 ¥1800

「鎌倉ミルクホールタイムス」

ミルクホールタイムスを1976年の創刊号より、100号まで
人気連載中の「鎌倉の猫事情」を第一話より掲載いたしています。

ミルクホールタイムス定期購読募集

年間購読料 ¥1500

phone 0467-22-1179
www.milkhall.co.jp
mail/ info@milkhall.co.jp
〒248-0006
鎌倉市小町2 - 3 - 8



2009 Milk Hall

ANTIQUES BAZAAR

2009年、ミルクホールでは毎月一度、テーマを決めて
ガラクタ・アンティーク・骨董の催事を開催いたします。

次回の蚤の市は、 7月11日(土) ~ 17日(金)

和洋家具を中心に、ミルクホールの骨董・ガラクタ市

★毎週火曜日は 着物の日です



鎌倉の夜はミルクホールで
DINNER とお酒のひと時を

DINNER SET

DINNER TIME
PM 5:30 -- PM8:00

オードブル サラダ
メイン ディッシュ
パン or ライス
デザート
コーヒー or 紅茶

¥2200~

HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶 36

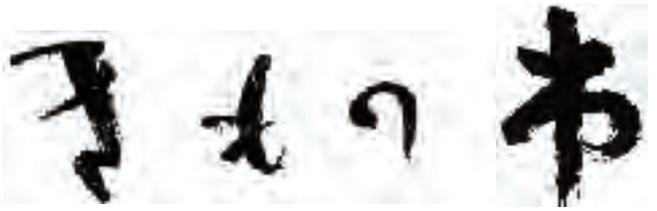
ミルクホールのルーツ 22 絹の小袖

今、ミルクホールのアンティークショップに2枚の美しい絹の小袖が掛けてあります。大正時代から昭和初期にかけて流行した斬新な模様を、鮮やかな彩りで染めあげた、それは美しい夏の小振袖です。一度ご覧になってみて下さい。それらは、私の故郷から送られてきたものです。その美しい着物の持ち主だった娘さんは私の父の妹でした。19歳で亡くなったと聞いています。祖母の家には祖父の写真と並んで巻き毛の可愛らしい女の人の写真が飾ってありました。その少女が袖を通した姿はどれほど綺麗だったでしょう。愛知県は第二次大戦末期の昭和19年と20年に大地震に見舞われています。戦争中、戦意を喪失させると言う理由で、当時は殆ど報道されず、今でも詳しいことはわかっていません。父の妹は、当時子供を預かる保育園を手伝っていました。名古屋の事ですから、空襲も激しく毎日のように親を失くしたり、家が焼けたり、行き場をなくした子供達があらわれたでしょう。そういう子供達の世話をしていたのではないかと思います。その中で大地震が起きました。父の妹は子供達を連れて一旦は逃れたそうですが、建物に取り残された子供がいることに気づき、火の手の上だった建物に戻って行き、亡くなったという話です。父がその話をした時「あんな状態の時に、子供を助けられなかったとしても、誰も責めなかったろうに・・・」と寂しい顔をしていました。その美しい着物は形見として、祖母が大切に仕舞っておいたのでしょう。それを遺品として受け継いだ叔母が、大切にしてくれていたのでしょう。美しい状態のまま着物は残っていました。祖母や叔母は、忘れがたい思いを込めて着物を大切にしていました。昔の人達が大切にしていた着物には、一枚一枚色々な記憶が込められています。



古布・古裂

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク



6月の蚤の市のテーマは、夏のきもんです

朝11時 OPEN!

6/13 Sat. 14 Sun.

和の小もの **20% off** きもの **30% off**

ゆかた色々 新入荷

今年は絶対ゆかたを着たい! という多くのお客様のご要望に応じて、藍色を貴重にした伝統柄の昔のゆかたから、可愛らしい新柄のゆかたまで、数多く取り揃えました。ゆかたも三割引。早いもの勝ちです。朝一番がチャンス!

着物・アンティーク古着

アンティークの単衣着物新入荷!

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの絹や紗の着物が入荷しました。

その他、夏の訪問着や、紬、木綿、交織など夏物だけでなく、袷の着物も出ています。

ゆかた	¥2000より	絹・小紋	¥6800より
久留米絨	¥7800より	銘仙着物	¥6500より
お召し	¥6800より	大島紬	¥15000より

古布・古裂

昭和初期夏物銘仙反物 新入荷

日本の古い着物を丁寧に解いて布地にしました。

端布組み合わせ ¥300より

柄の見やすい巻物にしてあります。ご希望の長さ等、お申し付け下さい。



半衿・帯揚げ

昔の着物をほどいて絹の半衿に仕立てました。着物のおしゃれのポイントは半衿です。同じ着物も、半衿を変えるだけで、別の着物のよう生まれ変わります。自分の個性に合わせたコーディネートで、楽しみませんか。

無地の半衿	¥500より
銘仙・絞りなど	¥800より
帯揚げ各種	¥700より

帯

夏帯色々 新入荷
半幅帯・名古屋帯など
絹・麻・木綿など
¥1800より

帯締め

コーディネート最後の引き締めるのは帯締めです。買いやすい価格で揃えました。
¥800より

和の小もの 下駄・ビーズバッグ 他

和洋家具

明治時代小水屋
大正時代ガラス水屋 2段
カウンターテーブル ミシン脚
格子建具・蔵戸
明治時代衝立・昭和初期衝立
大正時代ガラスケース各種
明治～昭和文机各種
裁縫台各種



ANTIQUE

6月の蚤の市 入荷予定

弥生時代 壺
明治・大正時代小筆筒各種
昭和初期ガラスケース大小色々

古陶磁

古伊万里瑠璃小皿
古伊万里印判小皿
明治平戸染付け小鉢
伊万里蓋碗各種
明治錦絵小皿
明治錦絵向付け
昭和初期織部長皿
大正色絵向付け・皿各種

アンティーク

Victorola 蓄音機
昭和ガラス窓
明治乳白ガラスシェード
仏製照明スタンド各種
額絵・ポスター各種
戦前照明スタンド
アンティーク額各種

古民芸

御簾 一对
大正時代鏡台
漆お椀・茶托・御膳
明治道具箱・樽など
糸巻き・大小
作業台各種 行灯
明治衣装盆